

助六 月替わり弁当

紅葉弁当

11月



色彩と味覚のハーモニーをご堪能！
豊かな秋の食材が、食欲をそそります。

【11月限定】紅葉弁当 1個 2,000円 (税別)

11月の
こだわり
メニュー

- 栗ご飯
- サーモン塩焼き
- 鮭造り
- 茄子揚げ煮

※ご予約はご来店、お電話にて、ご指定日の前日までに品名・個数をお知らせください。
※個数変更またはキャンセルの場合は、ご指定日の前日までにお知らせください。
※お弁当は配達のみとさせていただきます。※内容は多少変更になる場合がございます。

子供の祝い
七五三

11月15日は、子供の成長を願う大事な日本行事。神社・寺へご参拝の後には、ご家族でおくつろぎ頂ける助六へお越し下さい。お祝いの席を心を込めておもてなし致します。

助六のお子様の祝い
<http://sukeroku.com/plan/okosama.html>

※いちごプランのお料理です。

お祝いのお料理

ももプラン	・・・	7,000 円	(サービス料・席料込、税別)
ぶどうプラン	・・・	8,000 円	(サービス料・席料込、税別)
いちごプラン	・・・	10,000 円	(サービス料・席料込、税別)

※祝膳、お子様弁当、お部屋の画像は場合によって変更があります。イメージです。

日本の四季、風土、地理

解答と解説

百足(いっそく)と数えます。2つになると二百足(にそく)と数え、これは小魚の数え方由来します。小魚は、100尾の事を百足と呼び、「うに」は1つでも細かいとげが沢山あることから、こう呼ばれるようになりました。他にも、魚介類には独特の単位で数えるものも多く、白魚やさよりなど、小さく細い魚は箸で挟んで数えたことから「条」と呼びます。20条集まると「ちよぼ」と言いますが、最近の魚屋さんでも通じないことも多くあるようです。



※写真は蘭コース ※季節によって内容は変わります

法要のお料理

桔梗コース ￥7,000 (サービス料込、税別)

蘭コース ￥8,000 (サービス料込、税別)

特別懐石 ￥10,000 (サービス料込、税別)

椅子席、掘りごたつ個室4～60名様まで

人数等お気軽にご相談下さい。

法要のお勧め

祭壇、お花の手配など、宗派問わずご用意させていただきます。

15名様以上～、送迎も承ります。

※写真は百合プラン ※季節によって内容は変わります

お祝いのお料理

ガーベラプラン ￥10,000 (サービス料込、税別)

百合プラン ￥12,000 (サービス料込、税別)

薔薇プラン ￥14,000 (サービス料込、税別)

椅子席 又は、掘りごたつ個室をご用意いたします。

人数等お気軽にご相談下さい。

結納、和ウェディング、お祝い初め、七五三など様々なお祝い行事に対応いたします。

和ウェディング

料亭で叶える 憧れ

助六オリジナルプロデュース
ご結婚されるおふたりに、料亭ならではの伝統と誇りを受け継ぐおもてなしを感じる顔合わせ、結納、結婚式を挙げていただくために、マナー・作法講師の女将が、精一杯お手伝いさせていただきます。おふたりのご要望をお聞きし、地元ならではの趣のある結婚式をご提案しております。

SUKEROKU WEDDING <http://sukeroku.com/wedding/>

2016 10月20日号 Vol. 58 [発行] 2016. 10. 20

助六新聞

四季料亭 助六 岐阜県大垣市高砂町1-20

日本の人生儀礼 「忘年会」

ぼうねんかい
英語: Year-end party

「年末にその年の慰労を目的として執り行われる宴会」という意味付けでは台湾の尾牙、中華人民共和国の年会、大韓民国の送年会など、東アジア圏における共通の文化を見ることが出来ますが英語文化圏においてはクリスマスと対比させた非宗教的な行事と理解されており、英語として Year-end party、Forget the Year's Troubles Party 等のほか単純に Bounenkai などが充てられるように、日本固有の文化として考えられる場合が多いのです。忘年会の起源ははっきりとしておらず、いくつかの由来の異なる会合が次第に一つに融合して生まれた、多面的起源を持つ行事であると考えられているおり「としわすれ」という言葉を用いた最古の例としては、室町時代の皇族、伏見宮貞成親王が認めた『看聞日記』で、1430年12月の記録として出てくる「先有一献。其後連歌初。会衆如例。夜百韻了一献。及酒盛有乱舞。其興不少歳忘也。」という文章が残っています。これは、年末に催された連歌会が大変盛り上がりその様子がまるで、「としわすれ」のようだと述べたもので、この頃には既に民衆行事と



して酒を飲んで乱舞する行事が存在していたことを示しています。江戸時代、特権階級の人々の中で一年の憂さを晴らす行事になり、近代の忘年会が お祭りムードに変化したのは明治時代、無礼講などのキャッチフレーズで広まりました。忘年会は、絆を深める良い機会でもありません。どうぞ、みなさま助六へお越しくださいませ。

助六 TOPICS

忘年会は、個室でくつろぎの助六へ。

一年の労をねぎらい翌年への活力へつなげる忘年会。一年の締めくくりは、どうぞ助六へお越しください。お仲間と気兼ねなくお過ごし頂けるお部屋に、升酒での乾杯、美味しいお料理とともに、心を込めておもてなしさせていただきます。

http://sukeroku.com/pdf/sukeroku_bounenkai.pdf/

～ 心にしみわたる、篠笛の音色 ～

国内外で活躍する凧花さんの篠笛演奏で皆様をお出迎え致します。

心にしみわたる、落ちつく篠笛の音色で芸術の秋をご堪能下さいませ。

【開催期間】 11月7日(月)～11日(金)

篠笛奏者 凧花 プロフィール

岐阜県神戸町出身。10歳で和太鼓。16歳で津軽三味線を始める。高校卒業後、プロの和太鼓グループに入会。全国ツアー・海外ツアーを行い、和太鼓の魅力を世界中に届ける和楽器奏者。2011年独立し、和太鼓ユニット“TRY”を立ち上げ活動している。

「味付けの薄さに驚いたのですが、慣れというのはすごいことで、だんだん味がわかるようになってきました。その地域の味に早く慣れることが大切な事だとおもいます。」

助六 社長 今月のコラム

料理長の部屋 <http://hideyuki-nakamura.jimdo.com/>

女将ブログ http://blog.livedoor.jp/chikage_sukeroku/

facebook 中村 智景 または 四季料亭 助六 検索

四季料亭

助六

岐阜県大垣市高砂町1-20
Tel.0584-81-1290
<http://www.sukeroku.com>
✉sukeroku@oregano.ocn.ne.jp

春夏秋冬を 楽しむ 暮らしの 歳時記手帖

霜月

11月 November

日本では、旧暦11月を霜月(しもつき)と呼び、新暦11月の別名としても用います。霜月は読んで字のごとく「霜が降り出す月だから」という意味がありますが、前の月と繋がって10月の神無月を「上の月」、11月が「下な月」として「しもつき」となったとも言われています。また霜月には別名もあって、旧暦で冬の真っ只中というところから「仲冬」という呼び方もできるそうですよ。また、霜月を「そうげつ」と読んで「霜と月の光」「霜が降りた夜の月の光」など冬の風情を感じさせる表し方をする場合もあります。なんだか神秘的な、冬の美しさを表している表現で心地いいですね。